

US バイオ・ベンチャー (限定追加型)

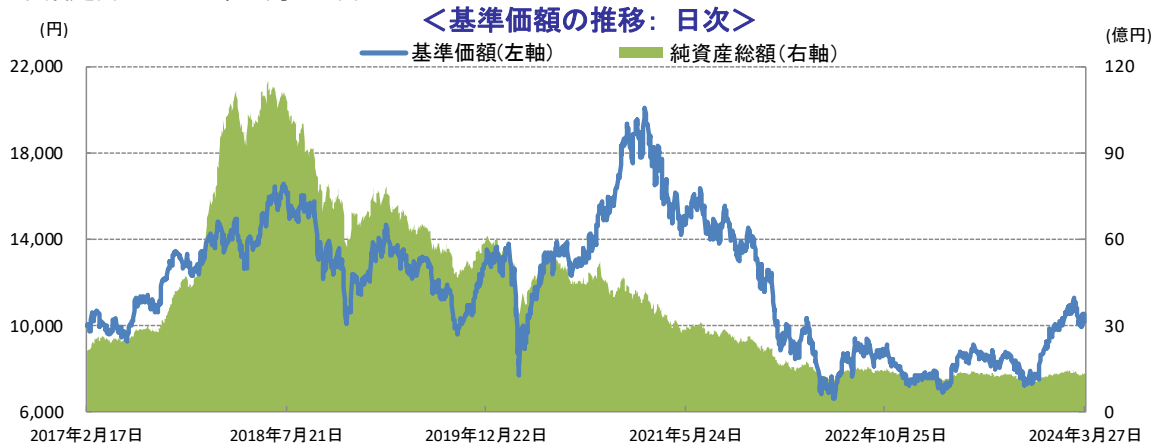
追加型投信/海外/株式

月次レポート
 【作成基準日】 2024年3月31日
 【作成日】 2024年4月15日
 【更新日】 2024年4月16日

運用状況 (2024年3月31日現在)

ファンド設定日: 2017年2月17日

日経新聞掲載名: USバイオ



※グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。
 ※基準価額は信託報酬及び成功報酬控除後です。信託報酬及び成功報酬については後述の「ファンドの費用」をご覧ください。

＜パフォーマンス・サマリー＞

	2017年			2018年			2019年			2020年													
	上期*	下期	年間	上期	下期	年間	上期	下期	年間	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間	
USバイオ・ベンチャー	10.39%	26.81%	39.99%	9.89%	-30.79%	-23.94%	18.40%	3.89%	23.00%														
ラッセル2000グロース指数 バイオテクノロジー(円ベース)	12.21%	25.62%	40.96%	6.76%	-27.63%	-22.73%	23.71%	21.44%	50.24%														
S&P500指数 (配当込み、円ベース)	1.83%	13.18%	15.25%	-0.18%	-7.09%	-7.26%	15.31%	13.70%	31.11%														
	2021年																						
USバイオ・ベンチャー	-4.41%	-4.87%	-17.40%	18.10%	11.21%	2.58%	-6.63%	4.00%	8.00%	8.90%	10.64%	9.13%	39.56%										
ラッセル2000グロース指数 バイオテクノロジー(円ベース)	-5.24%	-4.76%	-12.15%	22.46%	7.04%	3.61%	-4.85%	4.71%	1.65%	5.70%	15.59%	10.03%	46.60%										
S&P500指数 (配当込み、円ベース)	1.02%	-8.81%	-12.14%	10.03%	3.93%	1.13%	3.34%	9.03%	-4.39%	-1.79%	9.35%	2.18%	10.67%										
	2022年																						
USバイオ・ベンチャー	-2.48%	-2.51%	-9.24%	1.77%	-4.80%	2.16%	-8.53%	3.68%	-8.77%	1.47%	-9.81%	-2.57%	-34.12%										
ラッセル2000グロース指数 バイオテクノロジー(円ベース)	4.02%	-0.22%	-9.94%	3.42%	-9.34%	11.82%	-8.98%	0.94%	-5.09%	2.85%	-11.16%	-1.79%	-23.31%										
S&P500指数 (配当込み、円ベース)	2.69%	2.97%	7.86%	4.77%	0.74%	2.96%	2.05%	3.00%	-1.86%	7.17%	1.51%	4.21%	44.96%										
	2023年																						
USバイオ・ベンチャー	-24.98%	2.52%	4.00%	-13.55%	-15.24%	10.39%	5.21%	4.40%	-0.60%	6.78%	-12.15%	-6.57%	-38.09%										
ラッセル2000グロース指数 バイオテクノロジー(円ベース)	-24.88%	1.78%	6.10%	-14.66%	-6.87%	13.24%	9.36%	7.57%	3.20%	6.63%	-10.25%	-1.67%	-16.60%										
S&P500指数 (配当込み、円ベース)	-7.11%	-0.83%	11.33%	-4.21%	-0.94%	-1.96%	5.14%	0.97%	-4.45%	9.82%	-4.80%	-6.91%	-5.81%										
	2024年																						
USバイオ・ベンチャー	0.35%	0.60%	-4.65%	9.48%	4.23%	4.59%	1.26%	-0.88%	-3.08%	-11.43%	2.94%	27.98%	30.40%										
ラッセル2000グロース指数 バイオテクノロジー(円ベース)	2.26%	1.15%	-9.32%	12.77%	8.19%	4.01%	0.25%	-2.76%	-7.67%	-14.32%	9.62%	25.02%	25.79%										
S&P500指数 (配当込み、円ベース)	2.73%	3.74%	-0.20%	2.64%	6.16%	8.60%	1.43%	2.35%	-2.44%	-3.04%	7.61%	1.51%	35.02%										
	2024年																						
USバイオ・ベンチャー	4.28%	7.70%	-3.60%										8.27%										
ラッセル2000グロース指数 バイオテクノロジー(円ベース)	0.69%	15.15%	-4.99%										10.15%										
S&P500指数 (配当込み、円ベース)	7.21%	5.26%	4.29%										17.70%										
	過去1年			過去3年			過去5年			設定来			設定来 年平均										
USバイオ・ベンチャー	46.67%	-33.26%	-22.61%	5.25%	0.72%																		
ラッセル2000グロース指数 バイオテクノロジー(円ベース)	47.72%	-5.19%	54.08%	112.59%	11.17%																		
S&P500指数 (配当込み、円ベース)	49.40%	90.25%	176.85%	236.53%	18.57%																		

*設定日 2017年2月17日から計測しております。

US バイオ・ベンチャー (限定追加型)

追加型投信/海外/株式

月次レポート
 【作成基準日】 2024年3月31日
 【作成日】 2024年4月15日
 【更新日】 2024年4月16日

<基準価額・純資産総額>

	当月末	前月比
基準価額(円)	10,525	-393
純資産総額(百万円)	1,312	-60

	当月末
ハイ・ウォーター・マーク(円)	20,102

※基準価額は10,000口当たりの金額です。
 ※基準価額がハイ・ウォーター・マークを超えて上昇した場合、成功報酬がかかります。詳しくは、後述の「ファンドの費用」をご覧ください。

<基準価額の変動要因(円)>

	当月
株式等	-411
為替	+35
分配金	0
その他(信託報酬等)	-18
合計	-393

※基準価額の月間変動額を主な要因に分解したもので概算値です。

<資産構成比(%)>

	当月末	前月比
株式等	99.7	0.0
現金等	0.3	0.0
合計	100.0	0.0

※株式等の構成比はマザーファンドの組入れ比率です。

<騰落率(税引前分配金再投資)(%)>

	基準日	ファンド
1ヶ月	2024/2/29	-3.6
3ヶ月	2023/12/29	+8.3
6ヶ月	2023/9/29	+26.3
1年	2023/3/31	+46.7
3年	2021/3/31	-33.3
5年	2019/3/29	-22.6
設定来	2017/2/17	+5.3

※ファンドの騰落率は税引前分配金を再投資した場合の数値です。
 ※騰落率は実際の投資家利回りとは異なります。

<最近の分配実績(税引前)(円)>

期	決算日	分配金
第3期	2020/2/10	0
第4期	2021/2/9	0
第5期	2022/2/9	0
第6期	2023/2/9	0
第7期	2024/2/9	0
設定来累計		0

※分配金は10,000口当たりの金額です。表は過去の実績を示したものであり、将来の分配をお約束するものではありません。

※分配金額は、決算日に委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。但し、分配対象額が少額の場合は分配を行わないこともあります。

※この資料の各グラフ・表に記載されている数値は、表示桁未満がある場合は金額の場合は切り捨て、それ以外の数値は四捨五入して表示しています。
 ※この資料に記載されている構成比を示す比率は、注記がある場合を除き全てファンドの純資産総額を100%として計算した値です。

US バイオ・ベンチャー (限定追加型)

追加型投信/海外/株式

月次レポート
 【作成基準日】 2024年3月31日
 【作成日】 2024年4月15日
 【更新日】 2024年4月16日

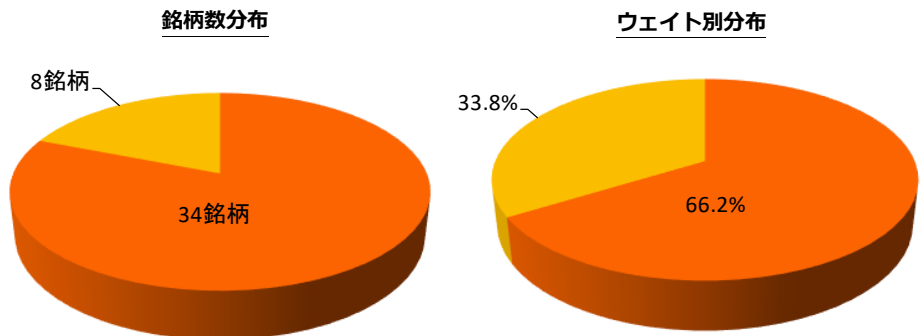
マザーファンドのポートフォリオ状況 (現地 2024年3月28日現在)

株式組入れ比率	組入れ銘柄数
96.9%	43銘柄

※ 株式組入れ比率はマザーファンドの純資産総額に対する比率です。

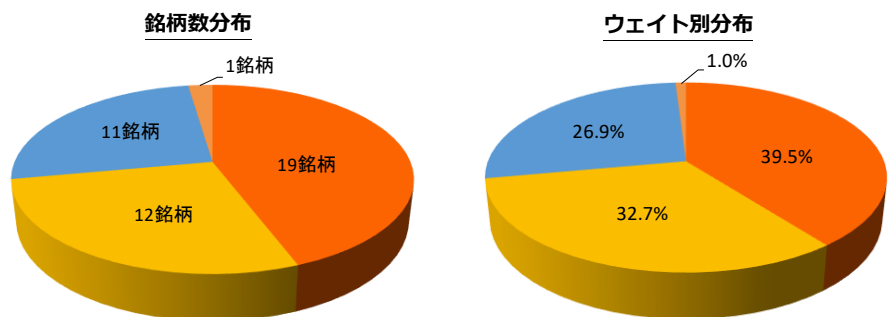
サイズ	時価総額
小型	50億ドル未満
中型	50億ドル以上～250億ドル未満
大型	250億ドル以上

<時価総額別配分>



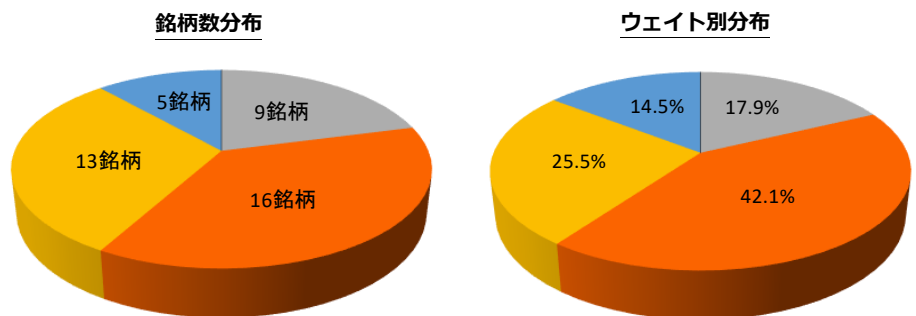
<医薬品開発領域別配分>

開発領域	疾患例
がん	血液がん、固形がん
希少疾患	ファブリー病等
総合疾患	循環器系・代謝系疾患、眼疾患等
感染症	B型・C型肝炎等
美容・形成	白髪、しみ・しわ等
神経・精神系	てんかん、アルツハイマー等
その他	ピーナッツ・アレルギー等



<医薬品開発ステージ別配分>

ステージ	薬品の開発状況
フェーズ0	プレクリニカル・フェーズ (人体での臨床試験開始前段階)
フェーズ1	臨床試験 (安全性テスト)
フェーズ2	臨床試験 (患者への効能テスト)
フェーズ3	臨床試験 (市販薬の形で主試験)
フェーズ4	認可取得後の追加調査



※ <時価総額別配分> <医薬品開発領域別配分> <医薬品開発ステージ別配分> の配分比率は、組入れ銘柄の月末時点残高合計に対する比率です。各比率は四捨五入しており合計が 100% とならない場合があります。
 ※ <時価総額別配分> には、「フロントのみ保有している銘柄は反映されていません」。
 ※ <医薬品開発領域別配分> は、各企業の主力、あるいは最も有望とみられる医薬品について、ピクトリー・キャピタル・マネジメント社が四半期毎に各企業の開発領域を分類しています。
 ※ <医薬品開発ステージ別配分> は、開発中及び販売中の主要製品のステージに基づき、ピクトリー・キャピタル・マネジメント社が四半期毎に各企業の開発ステージを分類しています。
 ※ フェーズ情報は各社の主力医薬品、あるいは最も有望とみられる医薬品のフェーズにより表しています。上記の「フェーズ」とは FDA(食品医薬品局)の医薬品の新薬認可プロセスにおける審査ステージを指します。フェーズ 0 には、開発候補の医薬品等が定まっていない企業、フェーズ 4 にはフェーズ 3 までの臨床試験を終えて医薬品が上市し、追加調査を行っていない企業を含む場合があります。

US バイオ・ベンチャー (限定追加型)

追加型投信/海外/株式

月次レポート
 【作成基準日】 2024年3月31日
 【作成日】 2024年4月15日
 【更新日】 2024年4月16日

<組入れ上位 10 銘柄>

順位	銘柄名	概要	時価総額 (億ドル)	組入れ 比率
1	バイキング・セラピューティクス	NASH(非アルコール性脂肪肝炎)をはじめとする生活習慣病や代謝障害等の治療薬を様々なフェーズで開発。	89.4	6.2%
2	バクサイト	次世代型の24価肺炎球菌(肺炎等の呼吸器感染症や全身性感染症を引き起こす球菌)結合型ワクチン「VAX-24」及び歯周炎治療を目的とするたんぱく質ワクチン等を開発。	74.1	5.9%
3	レボリューション・メディシンス	がん細胞の増殖を引き起こすRASたんぱく質(細胞の成長や増殖に関与するたんぱく質の一種)の異常に対する阻害剤「RMC-4630」等を開発。	53.1	5.1%
4	アベリス・ファーマシューティカルズ	免疫反応を活性化させる物質「補体」を阻害することで過剰な免疫反応を抑制し、萎縮型加齢黄斑変性等の炎症性免疫疾患及び自己免疫疾患を治療する医薬品を開発。	70.9	5.0%
5	スプリングワークス・セラピューティクス	細胞を遺伝子レベルで分析しデモイド腫瘍や神経線維腫症といった重度の希少疾患治療薬を開発。	36.3	4.5%
6	アミカス・セラピューティクス	ファブリー病(糖脂質の分解に必要な酵素が欠損し細胞内に不要な糖脂質が蓄積される遺伝性疾患)の経口治療薬「Galafold™」を欧米や日本等で上市済み。	34.8	4.4%
7	アーセルクス	多発性骨髄腫等のがん治療に向けてCAR-T療法(T細胞に遺伝子改変を行いがん細胞への攻撃性を高める治療法)等を開発。	36.7	4.0%
8	クリスタル・バイオテック	栄養障害型表皮水疱症(表皮と真皮を接合するたんぱく質の異常によって水疱や皮膚のただれを発症する疾患)等の希少難治性皮膚疾患に対する治療薬を開発。	50.3	3.8%
9	ディスク・メディシン	赤芽球増殖性プロトポルフィリン症(ヘモグロビン等の動きに関係するヘムの産生に必須な酵素が欠損することで生じる疾患)に対する世界初の治療薬を開発。	15.4	3.6%
10	ヌーバレント	がん細胞を成長及び増殖させるキナーゼ(リン酸化酵素)を標的とした次世代低分子阻害薬を開発。	48.1	3.5%

※ マザーファンドのポートフォリオ状況は、ビクトリー・キャピタル・マネジメント社及びブルームバーグの数値等を基にバイビュー・アセット・マネジメント社が作成しています。
 ※ <組入れ上位 10 銘柄>において、組入れ比率はマザーファンドの純資産を基に算出しています。上記は、当ファンドの将来の投資成果等を示唆あるいは保証するものではありません。当ファンドにおいて<組入れ上位 10 銘柄>記載の銘柄をはじめ、上記銘柄の保有を今後も継続するとは限りません。また上記銘柄の推奨を目的とするものではありません。

ご参考情報

<主な米国株価指数の推移 (米ドルベース) >



当月騰落率:
 S&P500(配当込み) 3.78%
 ラッセル2000グロース指数バイオテクノロジー* -5.46%

* ラッセル 2000 グロース指数バイオテクノロジー・サブセクターを指します。

<為替 (円/米ドル) 推移>



当月末: 151.41円
 前月末: 150.67円
 当月騰落率: 0.49%

US バイオ・ベンチャー (限定追加型)

追加型投信/海外/株式

月次レポート

【作成基準日】 2024年3月31日

【作成日】 2024年4月15日

【更新日】 2024年4月16日

ファンド・マネージャー・コメント

<市場動向>

3月の米国株式市場(現地2月29日~3月28日)は概ね上昇した一方で、小型バイオ株は下落しました。月前半は、企業決算の一巡に伴って利益確定の動きがみられたものの、パウエルFRB(連邦準備制度理事会)議長のハト派的な議会証言を追い風に株価はもみ合いながらも底堅く推移しています。月後半に入ると、FOMC(連邦公開市場委員会)で年内3回の利下げ見通しが据え置かれた他、2024年のGDP成長率予想も大幅に上方修正され投資家のリスク選好度が高まったことから株式市場は上昇しました。そうした市場環境の下、小型バイオ株は前月に大きく上昇した反動やインフレ指標の上振れが続いたことにより月央にかけて下落し、FOMC通過後も十分に値を戻しきれませんでした。最終的に、前月末(現地2月28日)比でS&P500指数(配当込み、ドルベース)は+3.78%、ラッセル2000グロース指数バイオテクノロジー・サブセクター(ドルベース)は-5.46%となっています。尚、為替が同期間に0.5%の円安ドル高となり、S&P500指数(配当込み、円ベース)は同+4.29%、ラッセル2000グロース指数バイオテクノロジー・サブセクター(円ベース)は同-4.99%となっています。

<運用概況>

当ファンドの基準価額は、信託報酬及び成功報酬控除後(Net)ベースで前月末比-3.60%でした。ラッセル2000グロース指数バイオテクノロジー・サブセクター(円ベース)に対しては、同指数に採用されていない当ファンド保有銘柄が個別のニュースで大きく値を上げたことによりアウトパフォーマンスしています。

具体的な個別銘柄動向については、臨床試験データの発表を控え警戒感から売り優勢となったカバレッタ・バイオ(Cabaletta Bio)が月間-26%、前月末の上昇を受け利益確定の売りが広がったバイキング・セラピューティクス(Viking Therapeutics)が同-13%、特段の悪材料はなく需給要因で売られたとみられるヌーバレント(Nuvalent)及びバクサイト(Vaxcyte)が各々同-12%、-9%と下落しました。他方、常染色体優性多発性嚢胞腎(左右両方の腎臓に嚢胞と呼ばれる液体の詰まった袋が発生し腎機能を低下させる遺伝性疾患)に対する治療薬「RGLS8429」の良好なフェーズ1臨床試験データを発表したレグルス・セラピューティクス(Regulus Therapeutics)は月間+93%、英製薬大手アストラゼネカ(AstraZeneca)による買収提案に合意したフュージョン・ファーマシューティカルズ(Fusion Pharmaceuticals)も売却日までに+73%と上昇しましたが、何れも保有比率が低かったため上記銘柄の損失をカバーするには至りませんでした。

当月は、大型バイオ企業シージェン(Seagen)でCEOを務めた実績を持つクレイ・シーガル博士を新たなCEOに迎えて新薬の開発に取り組むイミュノーム(Immunome)、早期の収益化が期待できる進行性固形がん治療薬「Zanidatamab」といった新薬パイプラインに加え財務規律も健全なザイムワークス(Zymeworks)等、計4銘柄を新たに組入れています。これに対し、上記フュージョン・ファーマシューティカルズの利益を確定させた他、当月の新規組入れ銘柄と比較して相対的に投資妙味に欠けると判断したバイオミア(Biomea)やエスペリオン・セラピューティクス(Esperion Therapeutics)等、計6銘柄を全売却しました。結果、当月末(現地3月28日)時点の組入れ銘柄数は、43銘柄と前月末から減少しています。

US バイオ・ベンチャー (限定追加型)

追加型投信/海外/株式

月次レポート

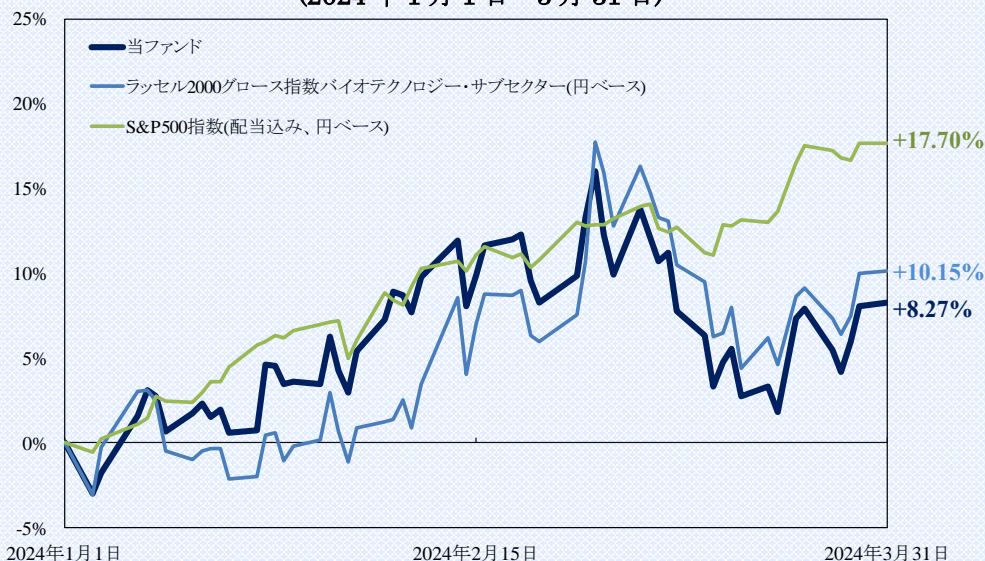
【作成基準日】 2024年3月31日
 【作成日】 2024年4月15日
 【更新日】 2024年4月16日

<市場見通し及び今後の運用方針>

2024年に入り3ヶ月が経過しましたが、2023年同様に大型株優位の展開となっています。生成AI(人工知能)ブームから同関連銘柄が好調だった他、FRBの利下げ観測も支援材料となりS&P500指数(配当込み、円ベース)は年初来+17.70%でした。一方、小型バイオ株は3月に発表されたインフレ指標が軒並み市場予想に対して上振れたことで、金利低下期待が遠のき利益確定の売りが先行した為、ラッセル2000グロース指数バイオテクノロジー・サブセクター(円ベース)が同+10.15%、当ファンドはNetベースで同+8.27%となっています(図表参照)。尚、当ファンドがラッセル2000グロース指数バイオテクノロジー・サブセクター(円ベース)に劣後した要因としては、2月末にバイキング・セラピューティクス(前掲)が強力な臨床試験データの発表直後に株価が急騰し同指数のリターンを4%近く押し上げたことが挙げられます。当ファンドは、同データ内容を具体的に確認した後に当該銘柄を組入れた為、株価上昇を捕捉できずラッセル2000グロース指数バイオテクノロジー・サブセクター(円ベース)に出遅れました。

当ファンドでは、FRBが利下げに踏み切れば小型株の中でも特に割安で金利感応度の高いバイオ株は注目を集めると考えています。2023年を振り返ると、バイオテクノロジー企業は資金調達環境の悪化が影響して過去10年間で最大となる計18社が倒産に追い込まれました。また、倒産には至らずともリストラや新薬パイプラインの取捨選択が実施され、当ファンド投資先企業においても複数が臨床試験の中止を余儀なくされるなど株価下落を招く事態に発展しています。しかしながら、2024年に入ると状況は一変し、バイオテクノロジー企業による資金調達総額は年初からの2ヶ月間で約100億ドルに達しました。更に大手製薬会社による小型バイオ企業のM&Aも活況を維持しており、後発事象となりますが、当ファンドが保有するアルパイン・イミュン・サイエンシズ(Alpine Immune Sciences)の買収が4月上旬に発表されています。インフレ再燃に伴い利下げタイミングが後ずれする可能性には注意が必要ですが、小型バイオ株は数年に及ぶ低迷から脱却する準備が着実に整いつつあります。

【図表】当ファンドと株価指数の年初来リターン: 日次
 (2024年1月1日~3月31日)



注記: 当ファンドのリターン計測には信託報酬及び実績報酬控除後(Net/Netベース)の価額を使用しています。S&P500指数(配当込み、円ベース)、ラッセル2000グロース指数バイオテクノロジー・サブセクター(円ベース)はブルームバーグのデータを使用しております。

US バイオ・ベンチャー (限定追加型)

追加型投信/海外/株式

月次レポート

【作成基準日】 2024年3月31日

【作成日】 2024年4月15日

【更新日】 2024年4月16日

<当ファンド保有上位銘柄の注目ポイント>

バイキング・セラピューティクス	2024年内に錠剤型の肥満症治療薬「VK2735」のフェーズ2臨床試験を開始予定。
バクサイト	2025年に次世代型の24価肺炎球菌(肺炎等の呼吸器感染症や全身性感染症を引き起こす球菌)結合型ワクチン「VAX-24」のフェーズ3臨床試験データを公表予定。
レボリューション・メディシズ	RASたんぱく質の異常に対する阻害剤「RMC-6236」のフェーズ1臨床試験が進行中。
アベリス・ファーマシューティカルズ	2023年前半に上市した萎縮型加齢黄斑変性に対する治療薬「SYFOVRE™(Intravitreal Pegcetacoplan)」の売上高成長。
スプリングワークス・セラピューティクス	2023年11月に新薬承認を受領したデスモイド腫瘍治療薬「OGSIVEO™」の売上高成長。
アミカス・セラピューティクス	ポンベ病(酵素の機能低下により糖質が過剰に蓄積され、歩行障害や呼吸器の機能不全を引き起こす疾患)治療薬「Pombiliti™+Opfolda™」の売上高成長。
アーセルクス	2024年前半に多発性骨髄腫治療に向けたCAR-T療法「CART-ddBCMA」のフェーズ2臨床試験を開始予定。
クリスタル・バイオテック	嚢胞性線維症(遺伝子の変異が原因となる常染色体劣性遺伝疾患)治療薬「KB407」のフェーズ1臨床試験が進行中。
ディスク・メディシン	赤芽球増殖性プロトポルフィリン症(ヘモグロビン等の働きに関係するヘムの産生に必須な酵素が欠損することで生じる疾患)の治療薬「Bitopertin」のフェーズ2臨床試験が進行中。
ヌーバレント	非小細胞肺癌に対する治療薬「NVL-520」のフェーズ1臨床試験が進行中。

※上記の表は、ピクトリー・キャピタル・マネジメント社の見解および各企業の公開情報を基にバイビュー・アセット・マネジメント社が作成しています。
上記の内容は各企業の新薬開発状況等によって大きく変わる可能性があり、当ファンドの将来の運用成果を予想あるいは保証するものではありません。

US バイオ・ベンチャー (限定追加型)

追加型投信/海外/株式

月次レポート
【作成基準日】 2024年3月31日
【作成日】 2024年4月15日
【更新日】 2024年4月16日

ファンドの特色

1. 中長期的に高成長が期待される、米国の中小型バイオ関連企業の株式へ主に投資を行います。

- 米国の金融商品取引所に上場する、バイオ医薬品を開発する企業、及びバイオ医療に関連する企業の株式*に投資を行います。
組入銘柄数は、40～70 銘柄程度を目処とします。
- 実質組入れ外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジは行いません。
- 株式の実質組入比率は、原則として高位を維持することを基本とします。
但し、市況急変時の対応として、またはファンドの資金動向や投資環境等によって、そうした運用ができない場合、もしくは運用者の判断でそうした運用を行わない場合があります。

* 株式には、預託証書 (DR) を含みます。預託証書 (DR) とは、Depository Receipt の略で、ある国の企業の株式を当該国外の市場で流通させるため、現地法に従い発行した代替証券です。株式と同様に金融商品取引所で取引されます。

2. ビクトリー・キャピタル・マネジメント社傘下で、米国中小型成長株式運用について専門的なノウハウを有する RS インベストメンツのグロース・チームが実質的な運用を行います。

- 当ファンドはファミリー・ファンド方式で運用を行い、マザーファンドの運用はビクトリー・キャピタル・マネジメント社に運用の指図に関する権限を委託します。
- RS インベストメンツのグロース・チームは、米国ベンチャー企業の聖地、シリコンバレーを臨むサンフランシスコを拠点とし、徹底したファンダメンタルズ分析と企業訪問によるボトムアップリサーチに基づき、時代を画するイノベーション企業の発掘に努めています。

3. 当ファンドは 2018 年 2 月 16 日で購入の申込期間を終了しております。尚、換金は月 2 回申込みを受け付けます。

※ 資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

US バイオ・ベンチャー (限定追加型)

追加型投信/海外/株式

月次レポート

【作成基準日】 2024年3月31日
 【作成日】 2024年4月15日
 【更新日】 2024年4月16日

ファンドのリスクおよび留意点

当ファンドは、マザーファンド受益証券への投資等を通じて、株式等の値動きのある有価証券に投資し、有価証券先物取引等を活用することがありますので、ファンドの基準価額は変動します。

従って、投資者の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金と異なります。

当ファンドの主要なリスクには以下のものがあります。

■ 株価変動リスク

一般に株価は、個々の企業の活動や一般的な市場・経済の状況、国内および国際的な政治・経済情勢等に応じて変動します。従って、当ファンドに組入れられる株式の価格は短期的または長期的に下落していく可能性があり、これらの価格変動または流動性に予想外の変動があった場合、重大な損失が生じる場合があります。

■ 為替変動リスク

外貨建資産の円換算価値は、資産自体の価値変動のほか、当該外貨の円に対する為替レートの変動の影響を受けます。為替レートは、各国・地域の金利動向、政治・経済情勢、為替市場の需給その他の要因により大幅に変動することがあります。組入外貨建資産について、当該外貨の為替レートが円高方向に進んだ場合には、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割り込むことがあります。なお、当ファンドにおいて、外貨建資産の為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは行いません。そのため、基準価額は、為替レートの変動の影響を直接受けます。

■ カントリーリスク

投資対象国・地域において、政治・経済情勢の変化等により市場に混乱が生じた場合、または取引に対して新たな規制が設けられた場合には、基準価額が予想外に下落したり、方針に沿った運用が困難となることがあります。

■ 信用リスク

組入れられる株式や債券等の有価証券やコマーシャル・ペーパー等の短期金融商品は、発行体に債務不履行が発生あるいは懸念される場合には価格が下がることがあり、また、投資資金を回収できなくなることがあります。

■ 流動性リスク

大量の換金があった場合、換金代金を手当てするため保有有価証券を売却しなければならないことがあり、その際には市場動向や取引量等の状況によって、基準価額が大きく変動することがあります。当ファンドはマザーファンドの受益証券への投資を通じて運用を行いますので、同じマザーファンドに投資するベビーファンドに追加設定・換金等に伴う資金変動があり、その結果マザーファンドにおいて売買等が生じた場合等には、当ファンドの基準価額に影響が及ぶ場合があります。

■ その他の留意事項（システムリスク・市場リスク等に関する事項）

証券市場は、世界的な経済事情の急変またはその国における天災地変、政変、経済事情の変化、政策の変更もしくはコンピューター・ネットワーク関係の不慮の出来事等の諸事情により閉鎖されることがあります。このような場合、一時的に換金等ができないこともあります。また、これらにより、一時的にファンドの運用方針に基づく運用ができなくなるリスク等もあります。

※基準価額の変動要因（投資リスク）は、上記に限定されるものではありません。

US バイオ・ベンチャー (限定追加型)

追加型投信/海外/株式

月次レポート

【作成基準日】 2024年3月31日
 【作成日】 2024年4月15日
 【更新日】 2024年4月16日

お申し込みメモ

購入単位	※当ファンドは2018年2月16日で募集期間終了となっております。
購入価額	※当ファンドは2018年2月16日で募集期間終了となっております。
換金単位	販売会社までお問い合わせください。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額から0.3%（信託財産留保額）を控除した額 ・毎月1日および15日（1日および15日が、日本の銀行、ニューヨーク証券取引所またはニューヨークの銀行のいずれかの休業日の場合は、翌日以降の日本の銀行、ニューヨーク証券取引所およびニューヨークの銀行のいずれもが営業日である日）を換金申込受付日とします。
換金代金	換金申込受付日から起算して、原則として6営業日目からお支払いします。
購入の申込期間	※当ファンドは2018年2月16日で募集期間終了となっております。
申込締切時間	換金申込受付日の午後3時までに販売会社にお申し出下さい。
信託期間	2027年2月9日まで(2017年2月17日設定)
繰上償還	委託会社は次のいずれかの場合、事前に受益者の意向を確認し、受託会社と合意のうえ、信託契約を解約し、信託を終了させること(繰上償還)ができます。 ・受益権口数が10億口を下回った場合 ・信託契約を解約することが、受益者のために有利であると認めるとき ・やむを得ない事情が発生したとき
決算日	毎年2月9日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	年1回の決算時に収益分配方針に基づいて収益分配を行います。但し分配対象額が少額の場合は、分配を行わないこともあります。 ※販売会社との契約に基づき「累積投資コース」を選択された場合の収益分配金は、税引き後自動的に無手数料で再投資されます。
課税関係	課税上は、株式投資信託として取扱われます。 公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度の適用対象です。 2024年1月1日以降は一定の要件を満たした場合に少額投資非課税制度の適用対象となります。 税金の取り扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

ファンドの費用

① 投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	※当ファンドは2018年2月16日で募集期間終了となっております。
信託財産留保額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額に対して、 0.3% の率を乗じて得た額をご負担いただきます。

② 投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用 (信託報酬)	日々の信託財産の純資産総額に対して 年率2.145%(税抜1.95%) を乗じて得た額とします。
成功報酬	ハイ・ウォーター・マーク超過分の 11.0%(税抜10%) ※ハイ・ウォーター・マークについては、後述(ご参考)をご参照下さい。
その他の費用 手数料	監査費用ならびに組入有価証券の売買の際に発生する売買委託手数料を信託財産でご負担いただきます。 これらの費用は、運用状況等により変動する為、事前に料率・上限額等を示すことができません。

※ファンドの費用（手数料等）の合計額、その他上限額、計算方法等は、投資者の保有期間に応じて異なる等の理由により、あらかじめ具体的に記載することはできません。

※購入・解約単位および購入時手数料については、販売会社が別に定める場合はこの限りではありません。

US バイオ・ベンチャー (限定追加型)

追加型投信/海外/株式

月次レポート

【作成基準日】 2024年3月31日
 【作成日】 2024年4月15日
 【更新日】 2024年4月16日

(ご参考)ハイ・ウォーター・マークについて

- 設定日：10,000円（1万口当たり）
- 設定日以降：成功報酬控除前基準価額が、その時点のハイ・ウォーター・マークを上回った場合は、翌営業日以降のハイ・ウォーター・マークは、成功報酬控除後基準価額に変更されます。ただし、ハイ・ウォーター・マークが変更されない場合においても、決算時に収益分配が行われた場合には、ハイ・ウォーター・マークは収益分配金額を控除したものに調整されるものとします。

◆ 成功報酬の留意点

- 毎日公表される基準価額は、成功報酬控除後の価額です。従って、換金される際に、換金時の基準価額からさらに成功報酬が差し引かれるものではありません。
- 成功報酬は、毎計算期間の最初の6ヶ月終了日および計算期末ごとにファンドから支払われますが、この場合も成功報酬は既に費用計上されていますので、更に成功報酬が差し引かれるものではありません。

委託会社、その他の関係法人 当ファンドは、2018年2月16日で購入の申込期間を終了しています。

【委託会社】 ベイビュー・アセット・マネジメント株式会社（ファンドの運用の指図等を行います。）

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第397号 加入協会：一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

【受託会社】 三井住友信託銀行株式会社（ファンドの財産の保管および管理を行います。）

【販売会社】 SMBC日興証券株式会社（ファンドの募集の取扱い及び解約のお申込の受付等を行います。）

ほくほくTT証券株式会社（ファンドの募集の取扱い及び解約のお申込の受付等を行います。）

販売会社 当ファンドは、2018年2月16日で購入の申込期間を終了しています。

販売会社名	登録番号等	加入協会
SMBC日興証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第2251号	日本証券業協会/一般社団法人第二種金融商品取引業協会/ 一般社団法人日本投資顧問業協会/一般社団法人金融先物取引業協会
ほくほくTT証券株式会社	金融商品取引業者 北陸財務局長（金商）第24号	日本証券業協会

本資料にかかる留意事項

- 当資料は「US バイオ・ベンチャー（限定追加型）」のポートフォリオの状況および今後の運用方針等について投資家のみなさまにご理解を深めていただくことを目的にベイビュー・アセット・マネジメントが作成した情報提供資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、勧誘を目的に作成したものではありません。当資料は信頼性が高いとみならず情報等に基づいて作成しておりますが、その正確さを保証するものではなく、当資料に記載された情報を使用することによりお客様または第三者が被った損害等を補償するものではありません。
- 当資料に記載された内容は表記時点でのものであり、将来変更されることがあります。
- 当資料で示した運用実績は過去のものであり、将来の運用成果をお約束するものではありません。